

クラス道徳

「箱根駅伝に挑む」

あらすじ

毎年、1月2・3日に開催される箱根駅伝。青山学院大学陸上競技部（長距離ブロック）が、2015年に初優勝し、さらに連覇を成し遂げました。チームは、選手自身が目標をつくり、それを達成するために日々の規則正しい生活を大切にしています。選手たちは、自分たちの毎日の生活でどんなところに気をつければ、練習に打ちこむ環境がつかれるのかを原点にして、考え始めました。なぜきちんとした生活が勝利のために必要かを理解するところから競技は始まるのです。

箱根駅伝初優勝の後、

まず**全員で掃除を徹底した**のは、どうしてだろう？

「**その一瞬を楽しめ**」という貼り紙には、選手たちのどのような思いが込められているだろうか？



試合で1分1秒を気にするのに

私生活で1秒を無駄にするのはおかしい。

（青山学院大学 原監督）

- 「その一瞬を楽しめ」——最強への徹底——
試合を楽しむために、自分の意思で考え行動し、練習・生活に取り組む
- あたりまえのことをあたりまえに
↓時間厳守・掃除・礼儀・規則・食事・学業の徹底
- 組織力の強化
↓報告・連絡・相談の徹底

<みんなの感想>

- ・今日、思ったのは、本番のためだけにやるだけじゃなくて、毎日生活面をきちんとやった上で実力があると思います。やっぱり**スポーツでもどれだけうまくても、そうじや整理、あいさつなど当たり前のことができて、実力がある人が上に上がっていくんだ**と思いました。スポーツ選手として、自分たちで考えて行動したり、サッカーでも自分が中心になってやる気持ちでやろうと思った。(Uくん)
- ・一つの大きな大会が終わっても、**またすぐに大会が来てしまうから、気をゆるめないように、次の大会への準備をしっかりとやろう**と思いました。残りの部活の時間を大切にしようと思いました。(Mくん)
- ・やっぱり今日の授業で掃除、礼儀、整理整頓、あいさつは大切だと思った。**掃除、礼儀、整理整頓をしっかりとしなければ、まわりの人からも応援されない**し、僕は授業で気付けたけど、本当は、自分たちで気付かないといけないと思う。これからは先生の言われるより先に動いて、みんなを引っ張れるような選手になりたい。指示を待つのではなくて、自分で動けるようになる。

(Nくん)

- ・本当に強いチームは、速いだけじゃなくて、**陸上以外のことも最強に徹底することで速いということがすごく分かりました**。練習を頑張るだけでは、速くなれないから、私も生活を見直していきたいです。(Mさん)
- ・この文章には、すごく共感できると思った。なぜかという、口丹の試合とかに行ったときに、「**この学校、あいさつの声、でかい**」とか、**進んで準備・片付けをしていたり、礼がしっかりできていたりする**と思った学校は、**テニスの技術面もうまかったりする**から共感した。(Kさん)
- ・生活が乱れていたら、試合や自分の身体にも表れるし、自分がサボっている間に頑張っている人もいるし、その人と戦ったら負けるし、そのために生活からちゃんとすることによって、その生活にクセがつき、それでまともに練習ができると思う。**練習だけしっかりやっても生活がダメなら成長しない**。(Nくん)
- ・**当たり前のことを当たり前にできないチームが優勝しても、応援する側は、何も感動したり、応援したいと思わない**。こんな目標(青山学院大学のような)を立てている人がスゴイと思いました。自分もここまではいけるかわからないけど、当たり前のことは当たり前にしようと思いました。(Yさん)

みんなにとっての当たり前のこととは何だろうか？

小さいことを重ねることが、

とんでもない所に行くただひとつの道だ。(イチロー)

「凡事徹底」とは、当たり前のことを当たり前にではなく、

人が真似できないほど「徹底的」にやる。

これもイチローの言葉